

予告

土橋 寛教授（明治四十二年二月二十七日生）は明年にはめでたく古稀の年をお迎えになります。この慶事の祝賀記念のために教授知友の諸先生、関係者の御寄稿をお願いし

土橋 寛教授古稀記念論文集

を編むことになりました。

同書は、笠間書院社長池田猛氏の一方ならぬ御厚意により刊行される予定でございます。

ここにこの旨を予告し、関係者各位の尽大なる御協力をお願いする次第です。

昭和五十三年三月一日

同志社大学国文学研究室気付

土橋 寛教授古稀記念論文集刊行会

責任者 南波 浩

会費改定にあたって

昭和五二年度定期総会（52・11・23）において、本学会会費を、昭和五三年度から、二、〇〇〇円に改定することが可決されました。物価高騰のおり、大幅増額の好ましくないことは当然ですが、雑誌発行・会報発行などの、学会としての基本的な活動を維持するためには、やむをえない措置でした。

会員みなさんに、この事情のご理解をいただくとともに、同窓知友の方に、復会・入会をお勧めくださるなど、ひきつづき本学会のために積極的なお力ぞえをお願いする次第です。（学会会計）

編集後記

本号は河野講師のを除いて、すべて卒業生の論文である。最近の本誌の紙面には、卒業生の活発な研究活動が反映している。ようやく本学会の地歩が固まってきたといえるのだろうか。このうえは、本誌が広く国文学界でも注目される存在になることである。研鑽に努めねばならないと思う。

学界の活動は機関誌の発行と切り離しては考えられないだろう。そのためにも、年二回の機関誌の発行を実現したいものだ。

（玉井）

執筆者紹介

小妻裕子……都城東高等学校教諭

菅野美恵子……大阪府立茨木工業高等学校教諭

川本真貴……昭和五十一年度本学卒業生

生形貴重……同志社女子中高等学校教諭

堀部功夫……池坊短期大学助教授

河野仁昭……本学嘱託講師、本学社史史料編集所主任

浅野敏彦……大阪府立春日丘高等学校教諭

山田和人……本学大学院学生

田中励儀……本学大学院学生

向井芳樹……本学教授

(題字 土橋 寛)

投稿規定

国文学会機関誌「同志社国文学」は、会員諸氏の研究発表の場でありますから進んでご投稿下さい。枚数は四百字詰三十枚以内。第十四号締切は昭和五十三年九月末日厳守。ただし、掲載論文の数には限度がありますので、論文の採択は編集委員会に一任して下さい。

同志社国文学 第十三号

昭和五十三年三月一日 印刷

昭和五十三年三月五日 発行

編集者 同志社大学国文学会

代表者 土橋 寛

京都市上京区烏丸今出川

発行所 同志社大学国文学会

振替 京都二七三七

京都市右京区西院久田町

印刷所 共同印刷工業株式会社